

# 農業振興公社だより

## 第二十回総会（定時）開かれる

角田市農業振興公社の第二十回総会（定時）が五月三十一日（火）午後六時三十分から角田駅オークプラザイベントホールで開催され、二十人の会員が出席（委任状出席を含め百十三人）しました。



△開会あいさつをする大友理事長

開会に当たり、大友理事長が、農地中間管理事業を受託してから二年目を迎え、貸し借りの実績が初年度の二倍になったことなどを報告しながらあいさつをしました。大河原地方振興事務所の佐々木部長はじめ、東来賓からご祝辞をいただいた後、東根地区の後藤義行さんを議長に選出し、「平成二十七年事業の報告と正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録の承認について」二理事の補欠



△議長の後藤義行氏

選任」の二つの議案について審議し、全議案とも満場一致で承認されました。「理事の補欠選任」は現役員の退任に伴い提案されたもので、新たに三人の理事が選任されました。（交代された役員）  
 退任された理事 遠藤忠良氏（蔵王町）、齋藤誠一氏（東根）  
 新たに選任された理事 佐藤喜一氏（北郷）、佐藤文美氏（枝野）、八巻裕一氏（佐倉）  
 総会に出席されご祝辞をいただいたご来賓の方々です。  
 大河原地方振興事務所農業振興部農業普及指導専門官 大友 一博 殿  
 宮城県議会副議長 長谷川洋一 殿  
 角田市議会産業建設常任委員会副委員長 武田 暁 殿

◆ 発行 ◆

公益社団法人 角田市農業振興公社  
 〒981-1505 宮城県角田市角田字大坊四一  
 電話 (0234) 63-1331  
 FAX (0234) 61-1511  
 URL <http://www.kakunou.or.jp/>  
 E-mail [kakuda@kakunou.or.jp](mailto:kakuda@kakunou.or.jp)

※提案された議案と主な質問・意見の概要は下記の通りです。  
 議案 第一号議案「平成二十七年事業の報告と正味財産増減計算書貸借対照表及び財産目録の承認について」  
 第二号議案「役員を選任について」  
 〈報告事項〉平成二十八年度計画及び収支予算  
 ・質問・意見（要点）  
 ・近年、農地利用集積等により大規模面積の経営が主体になっていくが粗放栽培が目立つ圃場があり委託解約の農家も出てきている。このような状況から耕作放棄地も見受けられるのでこのような問題にどのように対応を公社として考えているのかと意向を求められました。

### 一層の満足提供に向けて ～特別会員農産物生産者の会議開く～

角田の農産物のサポーターである農業振興公社の特別会員に送付する農産物の生産者打ち合わせ会が五月二十六日、角田市農業振興公社の会議室で開かれました。会議は、特別会員の皆様の期待にこたえられる農産物を生産し、お届けしようとする農産物生産者、米やイチゴ、梨の生産者ら九人が出席しました。  
 会議では、はじめに事務局から昨年度、利用者から寄せられたアンケート結果、特別会員事業の運営基準などについて説明がありました。協



△活発な意見を出し合う生産者

ける最高のものを生産することや、近年、申込者より野菜や漬物がほしいという要望も寄せられていることから、発送の難しさなどの課題を解消する方法を検討して、可能であれば今後朝ごはんセットに加えるか、またはアンケートを返信してくれる方にプレゼントをする・・・など、利用者と生産者がコミュニケーションをとれるような仕組みを作り上げることを念頭に熱心に話し合いが行われました。  
 最後に、特別会員の事業は、一定の評価を受け定着してきていること等を踏まえ、なお一層特別会員の満足が得られるよう生産者、公社が一体となり、対応を行っていくことを確認しました。

角田市農業機械銀行の通常総会が開催されました



△あいさつをする菊地理事長

四月八日（金）午後六時三〇分よりJAふれあいセンター虹において角田市農業機械銀行（理事長 菊地勝治／会員数三十六名）第四十二回通常総会が行われました。

角田市農業経営者会議の通常総会が開催されました

四月十二日（火）午後六時よりJAふれあいセンター虹において角田市農業経営者会議（会長 伊藤稔／会員数六十名）通常総会が行われました。

地酒地場産米消費拡大推進協議会の通常総会が開催されました

四月十六日（木）午後六時よりJAふれあいセンター虹において地酒地場産米消費拡大推進協議会（会長 岸浪俊一）通常総会が行われました。

純米大吟醸酒『牟宇姫』を堪能！

かくだの地酒を楽しむ会（岸浪俊一会長）では、今年も純米大吟醸『牟宇姫』を楽しむことを目的に、四月二十二日ふれあいセンターで「会員の集いと『牟宇姫』を楽しむ会」を開催しました。当日は、会員はじめ新澤醸造店の阿部様および役員二十一名が出席しました。今年度の『牟宇姫』の出来栄に大満足の様子でした。用意した新酒は、来年度まで待ちきれないとの声がいっぱいでした。



△挨拶する岸浪会長



△参加した皆さん

純米大吟醸酒「牟宇姫」はかくだの地酒を楽しむ会が大崎市の株式会社新澤醸造店に依頼して限定醸造したもの。市内の故郷かくだ銘酒会の酒店から会員に販売しました。

あぶくま農学校運営委員会が開催されました

あぶくま農学校の運営委員会が六月九日（木）午後六時四十五分から公会議室で開かれました。小松先生はじめ、面川代表他運営委員七名が出席し、今年度の「土の塾」（農業体験研修）、「出前塾」（実践）、「風の塾」（農業後継者研修）の取り組みについて協議しました。

今年度も開催する事が決定し、期間は八月十九日（金）～八月二十二日（月）の四日間。農業に興味がある方や農業をやりたい方も知識、経験がない方を対象に募集をする事になりました。

【出前塾】東京都目黒区の二つの販売イベントに参画する事にし、目黒区住区の方々とより一層の交流を深め、あぶくま農学校及び角田農産物のファンを増やしたいとの事で、工夫をしながら取り組みを進めています。夏の商工まつり（リバーサイドフェスティバル）は二日間、秋の消費生活展では毎年二日間なのだが今年度は一日の参加となる予定です。

【風の塾】ここ数年塾として活動は無く、稲作勉強会やトマト栽培勉強会等が位置づけられましたが、運営委員会の中で『風の塾』自体のあり方を考える時なので、もしねないので、今後は委員の方々と相談しながら決めていきたいと思っています。



目黒角田絆交流実行委員会が田植え体験を開催

目黒角田絆交流実行委員会（森谷茂委員長）では、五月二十八日（土）～二十九日（日）にかけて友好都市である東京都目黒区緑ヶ丘小学校有志児童十二人、緑ヶ丘小学校OG五人、目黒側の実行委員三人、緑ヶ丘小学校PTA八人、幼児二人、自由が丘住区少年住区二人、目黒区青少年委員一人、目黒区議会議員一人の計三十四名との交流会を行いました。あぶくま農学校の一環として活動してきましたが、先の震災の影響で学校間での交流が当面見送られることになりました。その中で平成二十五年に『目黒角田絆交流事業実行委員会』を立ち上げ現在に至っています。

二十八日（一日目）は、お昼頃に角田に到着し、絆交流田で昼食、その後田植えをし、夕方シンケンファクトリーで夕食兼懇親会を行いました。二十九日（二日目）は、午前中にイチゴ摘み取り体験（小野さんのハウス）をし、被災地見学をした後、昼食はそば処山ノ内分校で食べ、その後、あぐりつとにて買い物をし、帰路につきました。



（△6月29日現在 草丈34.7cm）

# 食農教育

# あぶくま農学校農業体験学習

# 『春』

あぶくま農学校では、「食農教育」の一環として、市内の小学校二校（枝野・西根・北郷）でこの度農業体験学習（田植え）を行いました。東京都目黒区民と角田市民の交流が縁で枝野小では平成二十二年から上目黒小と、西根小では平成十六年から月光原小と、北郷小では平成十二年から緑ヶ丘小と合同で交流事業を実施してきましたが、福島原発事故の影響で、今年も目黒区からの参加は見送られました。しかし、交流の再開を望む両校の熱い思いにより、目黒区の小学校の児童や保護者ら有志の方、数名が参加している学校も出て来ました。

## 上目黒小・枝野小



枝野小学校では五月十日に全校児童九十五名が田植え体験を楽しみにしていたが、雨が降っていてあぶくま農学校入校式は学習田ではなく、学校の体育館で行われ、農学校の副校長である佐山富夫教育長にご挨拶

を頂き、百姓先生によるバケツ植えの指導のあと一斉に行いました。

この日は朝から雨が降っていて、体育館にブルーシートを敷き、その上にバケツがありそれに土や水を入れ水田を作り、そこに苗を植えていきました。バケツに限りがある為、代表して五学年が行うことになりました。最初は土壌作りから始めたのですがどうやって作るのか知っている児童が少くない為、ほとんどの児童が興味津々で作業を終え田植え体験が終了しました。

## 月光原小・西根小



西根小学校では、五月二十一日に全校児童百一名が参加し、学校の体育館であぶくま農学校入校式を行い佐山富夫副校長のご挨拶の後、「であいのつどい」で交流のある月光原小学校の有志児童を歓迎し、児童同士が早く打ち解ける為、西根小学校の先生達が児童に各班に分かれてゲー

△式の自己紹介を行いました。その後、育成会の皆さんで田植えの事前指導を行いました。今年も、朝から育成会の方々が田んぼのライン引きや草刈りなどを行ってくれて、児童たちはそれに答えるように水田に入り、所々に悲鳴に似た笑い声が聞こえてきました。みて見ると、西根小の学習田は山の中腹にあり、水面に足を入れた時が冷たく、泥に足を入れると温かい、その感触が月光原の児童には何ともいえない感じがしたそうです。その後、月光原の児童も慣れてきたみたいであっという間に植え終わってしまいました。田植え終了後西根児童と月光原児童と皆一緒に記念撮影して笑顔で且つ名残惜しい雰囲気です。田植え体験が終了しました。

## 緑ヶ丘小・北郷小



北郷小学校では五月十三日、五年生児童二十八名が参加して、小学校の体育館で入校式を行い、あぶくま農学校副校長佐山富夫角田市教育長のご挨拶を頂き、その後、農協青年部北郷支部の方たちから事前指導を頂き、田植えを行いました。

当日は風が強く、かぶっていた帽子が飛んでいる子や風に煽られて田んぼに転んでいる子がいたり去年とはまた違う田植え体験となりました。

上目黒小・枝野小→  
(6月22日現在  
草丈 48.7 c m)



←月光原小・西根小  
(6月29日現在  
草丈 60 c m)



緑ヶ丘小・北郷小→  
(6月22日現在  
草丈 56 c m)



※現在の田んぼの様子、当公社のブログ『これがぼくらの田んぼだぞ』<http://kakunou4.exblog.jp/>からご覧いただけます。

### 募集のお知らせ

#### 特別会員募集

角田市農業振興公社では、毎年旬の時期に角田の味覚を味わって頂く目的で農産物を特別会員（サポーター）へお送りしています。

今年度も、「角田の農産物を味わってみたい」という特別会員（サポーター）を募集しています。

年会費は、一万円と五千円と二種類に分かれています。

#### 《Aコース（会費一万円）》

基本セット（朝ごはんセット）  
プラス左の①③より二点を選択



#### ① 梨（幸水または豊水）

九月頃予定



#### ② 麦ごはんセット 十二月頃予定



#### ③ いちご

来年一月予定



#### 《Bコース（会費一万円）》

新米中心のセット

味噌 二十キログラム  
七五〇グラム  
十月予定



#### 《Cコース（会費五千円）》

角田産秘伝豆と牛肉のセット  
十月上旬予定



#### 《Dコース（会費五千円）》

新米ひとめぼれ5キログラム  
とつや姫5キログラムのセット  
十月上旬予定

\*申込期限 八月五日まで  
\*申込みを希望される方は、当公社までご連絡お願いいたします。

#### あぶくま農学校『土の塾』の塾生を募集！

これから農業を始めたい方や農業に関心のある方たちを対象にした塾あぶくま農学校『土の塾』を今年も次の日程で開催いたします。

日程 八月十九日（金）～  
二十三日（日）三泊四日

内容 塾長講義、角田市内の施設見学、百姓先生宅にホームステイしながら農業実習、レポート作成など

\*詳しくは公社まで！

#### ～ 昨年の様子 ～



#### 百姓先生の登録のお願い

公社設立当初は三十名を超える公社会員の方に土の塾の塾生受け入れ先として登録して頂いていましたが近年高齢等により受け入れが出来ない百姓先生が増えており、十名程度にまで減少しています。

このままだと土の塾の塾生が増えた場合、受け入れが出来なくなってしまうため、百姓先生への登録をお願い致します。

